

2025年1月15日

日本OTC医薬品協会が小学校にキャリア教育の出前授業 「健康とくすり」の早期教育を実践！！

日本OTC 医薬品協会（会長：杉本 雅史、以下 当協会）は、兼ねてから啓発を行っている「健康とくすり」について、早期からの教育の重要性がより高まっていると考え、この度、帝京大学小学校（東京都多摩市）、港区立 筈^{こうがい}小学校（東京都港区）にて出前授業を行いました。

当協会では、ヘルスリテラシーを向上するためには、学童期からのくすり教育が重要との考えに立ち、学校教育現場等における保健体育のカリキュラムの中にも組み込まれている健康三原則（栄養、運動、休養）を実施するためのサポートとして、体が不調な時のくすりの使い方に関する教材を当協会HPに公開し、「健康とくすり」の啓発を行っております。

しかし、近年話題となっている若年層のオーバードーズ問題なども鑑み、早期からの「健康とくすり教育」の重要性はより高まっていると考え、この度、帝京大学小学校（3年生14名）、港区立筈小学校（5年生24名）への薬剤師の仕事・活躍の場所、健康とくすり教育、薬物乱用防止等について、出前授業を行うこととしました。

講義だけではなくクイズや実験を通して「健康とくすり」の重要性を伝えることで、児童たちも楽しみながらもしっかり内容を理解していただくことができた実感しています。一方で、授業を行うまでは間違った「くすりの使い方」についての情報もあり、改めて早期からの教育を行うことの重要性を感じました。

当協会では今後も小学生への出前授業だけではなく、HPによる情報提供などを通して、生活者の「健康とくすり教育」の啓発を進めてまいります。

■出前授業の内容

- ① 薬剤師のお仕事・活躍の場所
- ② 健康について考えよう
- ③ 薬について知ろう
- ④ 実験してみよう
- ⑤ 薬物乱用って何？
- ⑥ まとめ

■出前授業の感想

児童A「今までお茶やジュースで薬を飲むとどうなるか気になっていたのですが、今回の実験で疑問が解決した」

児童B「自分の健康を守るためには、バランスよく食べて、運動して、しっかり休養・睡眠をとるのがいいと分かった」

児童C「薬の使い方を間違えると大変なことになるということなどを知りました」

先生D「実験やクイズを交えていただけたので、子どもたちも薬について理解を深められたと思います」

○帝京大学小学校 出前授業の様子



○港区立筈小学校 出前授業の様子



【本件に関する報道関係者のお問い合わせ先】

広報担当：木田、湯浅

電話:(03)5823-4971 (代表) メール:info@jsmi.jp

■参考情報

- ・ 協会HP <https://www.jsmi.jp/>
- ・ 教材ダウンロードページ <https://www.jsmi.jp/med/education/index.html>